

政策シート

(政策名) 消防施設の最適化、人材育成の充実

(予算費目名) 消防総務費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

◇政策の概要

複雑化、大規模化する災害に対し、迅速的確に対応できる消防・救急体制を構築するため、消防庁舎の計画的な建設や整備を実施し、教育訓練等による職員の知識及び技術の向上を図る。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	400,530	304,552	676,759
決算	382,766	286,045	
人件費(A)	117,000	120,600	120,600
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	499,766	406,645	797,359

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
研修効果の業務活用率	%	100	目標 実績			90
大規模災害時に防災拠点として活用可能な施設割合	%	100	目標 実績	92.5 92.5	92.5 92.5	92.5
			目標 実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

複雑化、大規模化する災害に対し、迅速的確に対応できる消防・救急体制を構築するため、消防庁舎の計画的な建設や整備を実施し、教育訓練等による職員の知識及び技術の向上を図る。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・ 消防施設を適正に維持管理し、防災拠点としての機能維持を図った。施設の統合に向け基本設計、実施設計、地質調査及び造成工事を実施した。
- ・ 消防職員人材育成基本方針の策定に伴い平成29年度から新たな指標を設定した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	消防総務管理事業			○		102,036	81,036	3.0			
2	消防音楽隊活動事業					6,644	3,444	0.2	0.5		
3	消防庁舎運営事業	○	○			593,902	581,202	1.3	1.0		
4	消防総務運営経費					94,777	11,077	10.5	0.5		3.0
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						797,359	676,759	15.0	2.0		3.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 消防総務管理事業

◇事業目的・事業対象

- ・消防職員の人材育成のため、研修及び派遣を行い、市民の生命、身体、財産を災害から防除するための知識及び技術の向上を図る。
- ・災害活動上の安全の確保及び機動性を向上できる被服の充実を図る。

◇事業の概要

- ・消防企画・人材育成事業
専門知識及び先進技術の習得による能力向上のため、職員を消防大学校や県消防学校等へ派遣する。都市間の情報交換及び実務を通じた能力の向上を図るため、職員を総務省消防庁、全国消防長会、消防大学校へ派遣する。
階級、補職ごとに必要とされる知識や技術の向上を図るため階層別研修を行う。
消防業務に必要な資格の取得を行う。
- ・消防職員被服整備事業
消防隊、救急隊、救助隊等の職務遂行上必要な被服等を貸与する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	85,764	79,610	81,036
	決算	84,266	78,187	
	国・県支出		479	513
	市債			
	その他	973		
	一般財源	83,293	77,708	80,523
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		21,000	21,000	21,000
人工	正規	3.0	3.0	3.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
研修効果の業務活用率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値			90			100
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・消防企画・人材育成事業
 専門知識及び先進技術の習得による能力向上のため、職員を消防大学校や県消防学校等へ派遣した。都市間の情報交換及び実務を通じた職員の能力向上を図るため、総務省消防庁、全国消防長会、消防大学校へ派遣した。
 階級、補職ごとに必要とされる知識や技術の向上を図るため階層別研修を行った。
 消防業務に必要な資格を取得した。

・消防職員被服整備事業
 消防隊、救急隊、救助隊等の職務遂行上必要な被服等を貸与した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・消防企画・人材育成事業
 火災件数の減少に起因する経験不足を補うため、現場指揮シミュレーション研修を行う等、様々な階層別研修を実施し827人が受講した。
 消防大学校および消防学校へ職員を派遣し、消防の責務を再認識させるとともに、技術と知識の習得を図った。
 消防大学校派遣者のうち一部の者に局内研修の講師を依頼することで、学んだ技術と知識を組織に反映させる機会を設けた。
 消防局人材育成基本方針の策定に伴い平成29年度から新たな指標を設定した。

・消防職員被服整備事業
 消防職員がより安全かつ、迅速に活動できるよう被服を整備した。(54,870千円)

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

【改善:その他】・複雑化・多様化する災害への対応力確保及び消防業務の高度化・専門化に対応できる人材の育成を目的に、消防職員人材育成基本方針を策定した。
 ・女性消防吏員のキャリア形成の支援を目的とした消防大学校女性活躍推進実務講習へ職員を派遣した。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

【改善:収集・分析】・消防行政の実態に即応した研修内容への見直しを行うため、消防大学校での講義内容の分析を行う。
 ・消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン(消防庁策定)の改定に伴う分析を行い、ガイドラインに準拠した貸与被服の仕様を検討する。

事業シート (事業名) 消防音楽隊活動事業

◇事業目的・事業対象

消防音楽隊の演奏活動を通じて、消防広報を行うことにより、多くの市民に防火、防災思想の普及啓発を図る。

◇事業の概要

消防音楽隊は、昭和45年に県下初の公設音楽隊として発足し、市が主催する式典を始め、市内の行事へ参加し、演奏に併せ、市民の防火・防災意識の啓発を図ることを目的に活動している。消防吏員23人、非常勤職員12人の35人で編成している。

- ・演奏活動
 - 消防出初式などの各種消防の行事で演奏をする。
 - 戦没者追悼平和記念式や学校行事などの市の行事で演奏をする。
 - 浜松まつりやプロムナードコンサートなどの公共団体の行事で演奏をする。
- ・消防広報活動
 - 式典や行事などへ積極的に参加し、広報紙、パネル等により防火、防災意識の啓発を図る。
- ・研修
 - 外部講師招聘による、演奏及び演技技術の向上を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S45	-	一般会計	自治事務(法令義務)	浜松市消防音楽隊規程	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	2,954	4,001	3,444
	決算	2,739	3,705	
	国・県支出			
	市債			
	その他		219	144
	一般財源	2,739	3,486	3,300
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		2,800	3,200	3,200
人工	正規	0.4	0.2	0.2
	再任用(h31)		0.5	0.5
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
派遣演奏集客数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	300,000	300,000	300,000			300,000
実績値	303,653	310,132				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

消防音楽隊は、昭和45年に県下初の公設音楽隊として発足し、市が主催する式典を始め、市内の行事へ参加し、演奏に併せ、市民の防火・防災意識の啓発を図ることを目的に活動している。消防吏員23人、非常勤職員12人の35人で編成した。

・演奏活動

消防出初式などの各種消防の行事で演奏した。
戦没者追悼平和記念式や学校行事などの市の行事で演奏した。
浜松まつりやプロムナードコンサートなどの公共団体の行事で演奏した。

・消防広報活動

式典や行事などへ積極的に参加し、広報紙、パネル等により防火、防災意識の啓発を図った。

・研修

外部講師招聘による、演奏及び演技技術の向上を図った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・年間派遣演奏回数40回

・消防広報活動の実施、40回の派遣中310,132人に対し消防広報を行った。うち26回の派遣で「いい！直虎プロジェクト」の一環として井伊直虎の紹介を行った。

消防音楽隊紹介15回、感震ブレーカーの普及啓発4回、住宅用火災警報器の点検4回、防災紙芝居(火災時の対処)4回、消防団員の募集2回、防災製品の紹介2回、家庭内DIG2回、煙からの避難方法1回、熱中症対策1回、花火の正しい遊び方1回、非常食の備蓄1回、心肺蘇生法1回、火事の知らせ方1回、消防装備・活動紹介 1回

・事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 財源創出 / その他 事業費 現状 人工 現状

【改善:財源創出】・定期演奏会パンフレットに広告を募集し、広告収入を得た。(219千円)

【改善:その他】・音楽隊活動と共に浜松市ホームページやフェイスブックなどを利用し、幅広く情報発信を行った。職員の広報能力を向上させるため、外部講師を招聘し、広報能力を向上するための研修を実施した。研修の成果を活かし伝わる広報を心掛けた。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 その他 / 情報発信 事業費 現状 人工 現状

【改善:その他】・市の公設音楽隊として、フルーツパークやフラワーパーク等の施設で派遣演奏を実施することで集客に協力し、施設の付加価値を高める演奏を実施する。

【改善:情報発信】・様々な世代に対し情報発信するため、新たなSNSの活用を検討する。

事業シート (事業名) 消防庁舎運営事業

◇事業目的・事業対象

火災等の災害から市民の生命、身体、財産を守るため、消防庁舎の整備、充実を図る。

◇事業の概要

- ・消防庁舎運営維持管理事業
災害発生時の防災拠点として消防庁舎を適正に維持管理する。
 - ・消防庁舎整備事業
消防庁舎を適正に維持管理していくために、改修工事等を実施する。
- 【重点戦略項目No.98】
- ・東南部地域出張所建設事業
消防、救急需要の変化に対応し、均衡の取れた署所配置を実施するため、市東南部に救急車を配備した新たな出張所を整備する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	301,601	211,736	581,202
	決算	286,834	196,012	
	国・県支出			7,234
	市債	26,900	17,400	319,000
	その他	20,734	652	730
	一般財源	239,200	177,960	254,238
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		9,100	12,700	12,700
人工	正規	1.3	1.3	1.3
	再任用(h31)		1.0	1.0
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
大規模災害時に防災拠点として活用可能な施設割合(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	92.5	92.5	92.5			100
実績値	92.5	92.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
東南部地域出張所建設事業(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	40	60	80	100		100
実績値	40	60				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・消防庁舎運営維持管理事業
災害発生時の防災拠点として消防庁舎を適正に維持管理した。

・消防庁舎整備事業
消防庁舎を適正に維持管理していくために、改修工事等を実施した。

【重点戦略項目No.98】

・東南部地域出張所建設事業
消防、救急需要の変化に対応し、均衡の取れた署所配置を実施するため、市東南部に救急車を配備した新たな出張所を整備するため基本設計、実施設計、地質調査及び造成工事を実施した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・消防庁舎運営維持管理事業
消防庁舎27施設を適正に維持管理し、防災拠点としての機能維持を図った。
中消防署鴨江出張所電動式オーバースライダー修繕工事 他 16,352千円
消防局庁舎LED照明設置工事 他 9,999千円

・消防庁舎整備事業
老朽化等した消防庁舎の設備等の改修・整備工事を行った。
天竜消防署春野出張所危険物貯蔵所設置工事 2,654千円

・東南部地域出張所建設事業
新庁舎建設のため実施設計、地質調査及び造成工事を行った。
建築・設備実施設計 他 17,768千円

・事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 統合・再構築 / 収集・分析 事業費 拡大 人工 現状

【改善: 統合・再構築】・市東南部地域のより効果的な消防救急体制を実現するため、市東南部出張所建設事業に伴う基本設計、実施設計、地質調査及び造成工事を実施した。

【改善: 収集・分析】・GISを活用し本市の将来人口の減少等の社会環境を分析し消防需要及び救急需要の測定を行った。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 統合・再構築 / 改修・更新 事業費 拡大 人工 現状

【改善: 統合・再構築】・芳川出張所と飯田出張所を統廃合し市東南部出張所建設事業に伴う建設工事を実施する。

【改善: 改修・更新】・大規模災害時にも継続的な消防活動を遂行するため、耐震性能に不安がある庄内出張所の耐震補強工事を実施する。【事業費: 拡大】・建設工事を行うため、事業費の増加が見込まれる。

補助シート (事業名) 消防庁舎運営事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
98	土地測量 土地鑑定 用地交渉 用地取得	基本、実施設計 地質調査 造成工事	造成工事 建設工事	運用開始

事業シート (事業名) 消防総務運営経費

◇事業目的・事業対象

国、県及び全国消防長会等で主催する会議、研修会への出席を通じ、最新の消防情勢や消防諸課題への取り組みなど、広い分野で有益な情報を本市へ還元し、消防行政の円滑な推進を図る。

◇事業の概要

- ・会議、研修会等
 - 大都市消防長会議、大都市総務担当部課長会議、全国消防防災主管課長会議
 - 全国消防長会議：総会(理事)、役員会(理事)、財政委員会(副委員長)、予防委員会(参与)
 - 全国消防長会関東支部会議：総会(理事)、役員会(理事)
 - 静岡県消防長会議：定例会(副会長)
 - 静岡県西部地区消防長会議：定例会(会長)、研修会(会長)
 - 三遠南信地域消防連絡会：定例会
 - 県際消防連絡会：定例会、訓練
- ・職員派遣
 - 静岡県消防学校：教官、静岡県消防防災航空隊：副隊長
- ・消防局運営経費
 - 緊急消防援助隊活動費、消防訓練賠償責任保険等

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S25	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	10,211	9,205	11,077
	決算	8,927	8,141	
	国・県支出		266	767
	市債			
	その他	291		
	一般財源	8,636	7,875	10,310
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		84,100	83,700	83,700
人工	正規	10.3	10.5	10.5
	再任用(h31)	1.0	0.5	0.5
	再任用(h26)			
	非常勤	3.0	3.0	3.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

<p>・会議、研修会等 大都市消防長会議、大都市総務担当部課長会議、全国消防防災主管課長会議 全国消防長会議:総会(理事)、役員会(理事)、財政委員会(副委員長)、予防委員会(参与) 全国消防長会関東支部会議:総会(理事)、役員会(理事) 静岡県消防長会議:定例会(副会長) 静岡県西部地区消防長会議:定例会(会長)、研修会(会長) 三遠南信地域消防連絡会:定例会 県際消防連絡会:定例会、訓練</p> <p>・職員派遣 静岡県消防学校:教官、静岡県消防防災航空隊:副隊長</p> <p>・消防局運営経費 緊急消防援助隊活動費、消防訓練賠償責任保険等</p>
--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度 <input type="text" value="計画通り"/></p> <p>・全国消防長会財政委員会の副委員長に就任した。 ・最新の消防情勢や諸問題について検討する会議や研修会に参画することで、本市の消防行政における有益な情報を得ることができた。</p>
--

・事業の見直し

<p>実施結果 大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text" value="-"/> / <input type="text" value=""/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>【大項目:現状】会議及び研修会への参画は、本市消防行政の発展に有益であった。</p>
<p>今後の方向性 大項目 <input type="text" value="改善"/> 小項目 <input type="text" value="収集・分析"/> / <input type="text" value=""/> 事業費 <input type="text" value="拡大"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>【改善:収集・分析】GISを利用し出動実績から消防署所の適正配置について分析を行う。</p>